

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 7 月 17 日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---------------------------------|-------|------------------|
| 事業所番号 | 3870300492 | | |
| 法人名 | 医療法人 三善会 | | |
| 事業所名 | グループホーム薬師谷マナー | | |
| 所在地 | 宇和島市川内甲2101番地 (電話) 0895-20-3833 | | |
| 管理者 | 横濱和枝 | | |
| 評価機関名 | 愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班 | | |
| 所在地 | 愛媛県松山市持田町三丁目8-15 | | |
| 訪問調査日 | 平成 20 年 6 月 13 日 | 評価確定日 | 平成 20 年 7 月 18 日 |

【情報提供票より】 (平成 20 年 5 月 10 日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|------------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 15 年 4 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 16 人 | 常勤 8 人, 非常勤 6 人, 常勤換算 10.2 人 | |

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|-----------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額) | 30,000 円 | その他の経費(月額) | 13,000 円 |
| 敷金 | 有()円 ○ 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有()円 ○ 無 | 有りの場合 償却の有無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | 1,160 円 | |

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 5 月 10 日事業所記入)

| | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用者人数 | 17 名 | 男性 1 名 | 女性 16 名 |
| 要介護 1 | 2 名 | 要介護 2 | 6 名 |
| 要介護 3 | 6 名 | 要介護 4 | 3 名 |
| 要介護 5 | 名 | 要支援 2 | 名 |
| 年齢 | 平均 84 歳 | 最低 70 歳 | 最高 92 歳 |

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

| | | |
|----|----|--------------------|
| 指定 | あり | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 |
| 指定 | なし | 指定認知症対応型通所介護 |
| 届出 | なし | 短期利用型共同生活介護 |
| 加算 | あり | 医療連携体制加算 |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

溪谷下流の自然豊かな地域でありながら、近くに住宅・店・畑・バス停留所等があり、利便性も高い。すぐ側に澄んだ水が流れ、心地よい水音が聞こえる。職員と利用者の生活は落ち着いており、散歩・畑作業を楽しんだり、来訪者との会話やリビングでくつろぐ姿などから自由で穏やかな日常を知ることができる。管理者及び職員の異動は少なく、ケアの質の維持はできており、評価や見直しを続けながら、さらなる質の向上に熱心に取り組んでいる。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

地域との関わりについては、管理者をはじめ職員は理解しており、自治会や老人会、近隣住民との交流を進めている。ホームでの行事にも地域の方に参加してもらえよう取り組んでいる。地域包括支援センターや地域のグループホームとの勉強会を通じて交流を進めている。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

全職員で自己評価を行い、話し合っ作っている。自己評価をすることでケアの振り返りとなっており、課題に気づき、改善に取り組むことができている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

行政、地域、他ホームの職員、家族等にホームの現状や課題、取り組み等について知ってもらうことで、協力を得やすくなってきている。回数を重ねメンバーが増えることで人間関係が広がり、利用者の生活が広がる糸口にもなっている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の面会は多く、直接に話し合う機会が多い。ホーム便りや電話・手紙等でも生活ぶりを伝えており、コミュニケーションは取れている。意見箱を設置し、また定期的に訪問がある介護相談員、ホームの苦情担当者でも対応している。また、外部への対応も説明や表示をしている。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

運営推進会議や行事に参加しあう経験を重ねることで地域の方と顔馴染みになってきており、地域の情報も積み重ねができてつある。公的なものだけでなく、個々の付き合いも大切に楽しんでいる。今後はさらに利用者が主役となる働きかけができるような取り組みが求められる。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム薬師谷マナー

(ユニット名) 岩戸

記入者(管理者)
氏名 横濱 和枝

評価完了日 平成 20 年 5 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------|------|--|---|----------------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) 理念を作り、ミーティング時に話し合っているが十分ではない。 (外部評価) 職員全員で検討を続けており、本人が地域とのつながりを持ちつつ、その人らしく暮らしていくことを大切にしている。 | ※ | スタッフで理念について、今一度考えてみたい。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) 実践が理念にもとずいたものになるように日々取り組んでいる。 (外部評価) 理念を事務室や居間に掲示して常に目に触れるようにしており、実践に活かされるものとなるよう取り組んでいる。 | | |
| 3 | | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価) 運営推進会議、ホーム便りの発刊等、機会がある度に取り組んではいるが、十分ではない。 | ※ | 地域の方たちの働きかけが十文ではない、 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|----------------------------|---|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 日常的に散歩や買い物などに出かけ、近所の人達と挨拶を交わしたり、話をしたりしている。 | | |
| 5 | 3 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 地域のお祭り、盆踊りなどには利用者と共に積極的に参加している。 (外部評価) 地域の行事や活動には積極的に参加しており、清掃活動や婦人会のバザーにも協力している。運営推進会議を通じて自治会や老人会等とのつながりも進めている。また、地域のゲートボール場の利用等も検討したいと考えており、散歩や買い物等の機会もより工夫したいと努めている。 | ※ | 地域との関係は徐々に進んでいるが、さらに働きかけをより具体的に続行していくことを期待したい。地域から「してもらおう」だけでなく、ホームとして「できること」についても検討し、職員は専門職として地域へ働きかけることも期待する。 |
| 6 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 運営推進会議、ホーム便りの発刊等、機会がある度に取り組んではいるが、十分ではない。 | ※ | 運営推進会議、等に地域の方にもっと参加して頂き、G H、認知症の理解を深めて生きたい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 自己評価を全職員で行い、質の向上に努めている。外部評価の結果を報告し改善に向けて努力している。 (外部評価) 管理者及び職員は評価の意義を理解しており、個々に自己評価をして改善に取り組む姿勢がある。昨年度の評価を受けて、具体的な改善に取り組んでいる。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|----------------------------|--|
| 8 | 5 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) ・ 2ヶ月に1度、運営推進会議を開催し意見交換をし、サービスの質の向上に努めている。 (外部評価) 会議での意見や提案は検討し、積極的に運営に活かしている。また、ホームをより理解してもらうために情報提供もしている。 | ※ | サービスの質を向上するうえで大切なものと捉えており、活発な会となるよう努力している。今後は家族会等にも発展したいと検討している。 |
| 9 | 6 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) ・ 運営推進会議に市の職員の方に参加して頂き、現場の実情を伝えたり、運営上の悩みを話したり又、分からない事があれば相談したりしています。 (外部評価) 運営推進会議に参加のうえ現場の実情を見てもらい、意見交換できている。また、必要時はメール等で相談もしている。介護相談員は月1回受け入れている。 | ※ | 管理者等の人脈もあり、スムーズに連携できているが、さらに機会あるごとに具体的により幅広い連携への取り組みを期待する。 |
| 10 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) ・ 研修会に参加し、理解はしているがまだ活用している人はいない。 | ※ | ・ 家族と連携をとりながら後見人を作っていかなければならない。 |
| 11 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) ・ 勉強会やミーティングを開き、虐待防止法に関する理解を深め、管理者、職員お互いに一人の問題ではなく、問題を共有し防止に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) ・ 契約時、解約時に利用者家族に不安が生じないように、十分な説明を行い、納得をして頂いている。 | | |
| 13 | | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) ・ 介護相談員を派遣して頂き、利用者の相談、意見を聞いて頂く。 ・ 利用者の言葉や態度からその思いを察する努力をしている。 | | |
| 14 | 7 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) ・ 月に1回ホーム便りで暮らしぶり、連絡事項等で、伝えている。 ・ 家族が来所時に必ず声をかけ、近況を報告している。 ・ 心身の状態に変化があった時はそのつど報告し、相談している。 (外部評価) 毎月発行のホーム便りで暮らしぶりを伝えている。家族の来訪は多く、訪問時には声をかけて状態等を伝えるようにしており、変化がある時や必要時にはその都度報告・相談している。今後は、状況報告だけでなく嬉しいことなども多く伝え、喜びを共有したいと考えている。 | | |
| 15 | 8 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) ・ 苦情担当者を決め、苦情相談等、連絡先を重要事項説明書に記載している。 苦情箱の設置。 ・ 訪問時に何でも言ってもらえるような関係づくりを心掛けていく。 ・ 運営推進会議に参加して頂き、意見を出して頂く。 (外部評価) 運営推進会議には家族の出席もあり、今後は家族会に繋がりたいと検討している。苦情相談担当者や意見箱等、意見を表出する具体的な方法は明示しているが、より意見をいただくために良好な関係づくりに努めている。 | ※ | 家族会に繋げ、もっと積極的に意見を言って頂く。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 16 | | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) ミーティングを定期的に行い、日頃からコミュニケーションを図るよう心がけている。 ・運営者と利害が一致せず、難しい事も多いが努力はしている。 | ※ | 利用者の笑顔を頼りに、スタッフ、管理者、運営者が意見を出し合いより良いホームを目指して生きたい。 |
| 17 | | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) ・必要に応じて職員の配置を考えている。 ・行事の時、パート、ホーム長（フリー）が入る。 ・人員がぎりぎりの為柔軟な対応が出来ない時もある。 | ※ | 重度化しつつ、人員が足りないと思う事がある。制度上の問題提起をしていきたい。 |
| 18 | 9 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) ・基本的には各ユニットの職員を固定化し、馴染みの職員によるケアを心掛けている。 ・新しいスタッフが入る場合も、紹介、引継ぎ等十分時間を取っている。 (外部評価) 職員の異動は少なく各ユニットの職員は固定しており、馴染みの関係が保たれている。職員の交代がある時は紹介や引継ぎ・教育等の時間と手間をかけている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) ・段階に応じた研修を受けられるよう、進めている。 ・資格も取れるよう援助している。 ・全スタッフに研修の希望を聞いている。 ・近くの研修が少ない。 ・法人内の研修が少ない。 (外部評価) 管理者は段階に応じて研修を受けられるよう配慮しているが、まだ計画的に進んでいない。研修の情報はできるだけ伝え、参加を働きかけており、内容によっては出勤扱いでホームが費用負担をしている。地域や法人内の研修機会は少ない。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 20 | 11 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) ・ GH連絡会が出来、交流も増えてくる事を期待する。 ・ 地域のGHで勉強会を立ち上げて交流している。 ・ 運営推進メンバーに他のホームの方、2名参加してもらっている。 | ※ | 勉強会がしばらく間が開いているので、又開催したい。継続していきたい。 |
| | | | (外部評価) 市内5つのグループホームで連絡会を作り、勉強会等での交流を始めている。また、ホームの運営推進会議のメンバーに入ってもらい、相互の活動や質向上に活かしている。 | ※ | 活発な交流・勉強会等を定期的で開催し、より具体的なテーマで取り組むことができるよう、継続を期待する。 |
| 21 | | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) ・ 懇親会などで気分転換を図っている。 ・ 休憩室を確保している。 ・ スタッフの態度、顔色等を見て悩んでいそうな時は話を聞くようにしている。 | | |
| 22 | | ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) ・ スタッフの資格所得に向けた支援を行い、所得後は本人の意向を重視しながら、職場内で生かせる環境づくりに勤めている。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) ・ 法人との関係から、急に利用になるケースが多く、十分な話が出来ないまま、入居される事が多い。 | ※ | ゆっくり時間を取り、本人の思いを聞いて受け止めていきたい。 |
| 24 | | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) ・ 法人との関係から、急に利用になるケースが多く、十分な話が出来ないまま、入居される事が多い。 | ※ | ・ 事前に時間を取り、話を聞いていきたい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 25 | | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) ・本人、家族が何を必要としているか見極め、相談し支援をおこなっている。 | | |
| 26 | 12 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) ・本人が納得し利用できるように勤めている。 ・家族が協力できれば、馴染むまで来ていただいたり、電話をしてもらったり協力して頂いている。 ・急を要しない方は、数回来て頂き、顔見知りになってから入居された方もいる。 (外部評価) 本人や家族に何度か訪問してもらったり、ホーム職員からの訪問や電話するなどし、家族の協力を得ながら馴染めるよう努めている。急な利用となることが多く、個々の情報から不安材料を取り除く関わりに努め、安心できる環境を整えるよう配慮している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) ・人生の先輩であり、若いスタッフが分からない事は教えてもらい一緒に生活を送っている。 ・出来る事はしてもらい、出来ない事は支援し、支えあって生活している。 (外部評価) 職員は、人生の先輩としての関わりを基本姿勢として、共に生活している。個々のできること、どの程度の支援でできるか等を見極め、情報交換・共有しながら、利用者がお客さんにならないケアに努めている。 | | |
| 28 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) ・家族が参加する場面が少ない。 ・協力的な家族が決まっている。 | ※ | 家族をお客扱いせず、いろいろ話し合い一緒に利用者を支えていく。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 29 | | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) ・外出、外泊などで家族と一緒に過ごす事を進めたり、行事に誘ったりしている。 ・ホーム便りや報告等、家族と本人の距離を近づけるよう勤めている。 | | |
| 30 | | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) ・行きつけの美容院にいけるよう支援する。 ・お墓参り。 ・友達宅。 ・親戚宅。 | | |
| 31 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) ・利用者同士が過ごせる場面を作り、スタッフが時々調整役となって孤立しないよう勤めている。 | | |
| 32 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) ・行事に誘ったり、相談にのったりしている。 ・他の事業所に移られた方に、利用者と一緒に遊びに行く。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) ・本人の意向を、言葉表情などから汲み取るよう努力している。 (外部評価) 職員は共に生活する中で思いや希望を把握している。特に入浴介助時は把握でき易いと感じている。それらをケアの中でより活かしていくために、記録方法等の工夫に取り組んでいる。また、家族から情報を受け取るだけでなく、ホームで得られた情報を家族へ返していく取り組みも進めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 34 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) ・センター方式のシートを活用している。 ・入居時できないときは日々の関わりの中で話を聞き、情報を収集し、スタッフで共有する。 | | |
| 35 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) ・日々の関わりの中で出来る事、出来ないことを把握するように努めている。 ・センター方式のシートを活用し、プランに反映している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) ・本人家族には日頃思いや意見を聞き、反映させるように努めている。アセスメントを含め、職員で意見交換、モニタリング、カンファレンスを行っている。 (外部評価) 本人や家族の日頃の意向を反映させている。また、職員間でカンファレンスをして評価し、計画作成に活かしている。 | | |
| 37 | 16 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) ・モニタリング、更新前にはプランの見直し、状態が変わった時はプランの変更等スタッフ、家族、本人と話し合い行っている。 (外部評価) 関係者で定期的及び必要時の見直しをしている。可能な時は本人及び家族も参加してのカンファレンスを行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 38 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) ・センター方式のシートを使い日々の暮らしの様子や本人の言葉、エピソード等を記録している。 ・職員全員が情報を共有できるようにしている。 ・個別記録を元にプランの見直し、評価を実施。 | ※ | プランにそった記録、職員のきずきや工夫を書く。 ・正確に分かりやすく書く。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) ・家族に代わっての通院介助。 ・本人、家族の要望に沿えるように、柔軟に対応している。 (外部評価) 本人及び家族の要望には柔軟に対応する姿勢をもち、希望する医療機関への通院、理美容院の利用、墓参り、友人宅への訪問等を支援している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) ・自治会の活動。民生委員の方との交流（運営推進会議の参加）地域の婦人部の方の協力。 ・派出所への協力、消防団への声かけ。 | ※ | 公民館を利用し、地域との交流をひろげて行きたい。 |
| 41 | | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) ・本人の希望や体調に応じて訪問理美容サービスを利用している。 | ※ | 希望や必要に応じて他のサービスを検討していく、 |
| 42 | | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) ・地域包括支援センターとの交流で地域の福祉関係の事業所の交流や勉強会の開催。 | ※ | 成年後見制度の利用が必要な方にセンターと協力していく。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|----------------------------|--|
| 43 | 18 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) ・ オーナが医療法人であるが、希望される医療機関を受診でき、支援している。 ・ 現在はほとんど当法人の医療機関である。又Drの方から他の医療機関に紹介されることも多い。 (外部評価) 希望する医療機関への受診を支援しているが、運営法人である医療機関を利用している方が多い。紹介により、専門の他の医療機関で適切な医療を受けることもある。 | | |
| 44 | | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) ・ オーナが脳神経外科医であり、診断情報や治療方針、認知症についての指示や助言をもらっている。 | | |
| 45 | | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) ・ 看護職員を配置している。日頃の健康管理や状態変化に応じた支援をおこなっている。 ・ 同系列の医療機関があり、分からないことがあれば相談できるようにしている。 | | |
| 46 | | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) ・ 入院時には頻会に見舞いにいき、情報を医療機関に提供し入院によるダメージを少なくするように病院関係者との話し合い、相談又家族との情報交換を行い早期に退院できるように勤めている。 | | |
| 47 | 19 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) ・ 出来るだけ早い段階で医師、家族、本人と話し合い方針を共有している。 ・ 一度決めていても気持ちが変わるのでたびたび話し合い意思確認をしている。 (外部評価) 予測される早い段階で、本人・家族・医師等と話し合っている。時々気持ちの変化があるため、度々話し合い、意思を確認している。ただ、現在までに終末期を経験していない職員もおり、不安を感じている。 | ※ | 看護職が3名いるが、特に経験のない職員は不安を持っており、情報の共有と教育の実践が必須であるため、今後の取り組みに期待する。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 48 | | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) ・ 本人家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携を取り利用者が安心して終末期を過ごして頂けるよう取り組んでいる。 | ※ | スタッフの不安を取り除くよう、セミナー、勉強会を開いていく。 |
| 49 | | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) ・ 他の事業所に移られた場合情報交換を行い馴染みの職員が訪問するなどダメージが最初現に食い止められるよう努めている。 | ※ | センター方式のシートを活用していく。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 50 | 20 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | (自己評価) ・ 声かけ、周りの人に知られないよう、プライドを傷つけないように配慮したり気をつけている。 ・ 職員の意識向上を図るようミーティング時に話している。 (外部評価) 常にミーティング等で振り返りをし、言動に注意して対応している。記録は事務室に保管しており、適切な取り扱いに努めている。 | ※ | ・ 日々の関わりの中でリーダーが点検し対応の徹底を図る。 |
| 51 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | (自己評価) ・ 利用者に合わせて声かけし、意思疎通が困難な人には表情を読み取ったり、自己決定の場面を作っている。 ・ 本人の意思に添えるよう努めている。これでいいですか？どちらがいいですか？本人の決定を求めている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 52 | 21 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) ・ 基本的な1日の流れはもっているが一人ひとりの体調に配慮しながらその日、そのときの本人の気持ちを尊重して出来るだけ個別性のある支援を行っている。 | ※ | 職員の都合で支援している場面が多い。改善していきたい。 |
| | | | (外部評価) ホームのおおまかな一日の流れはあるが、個人の体調や思いを優先している。制約等により思いを優先できない時は、よく話し合っ対応している。 | ※ | 職員の都合やホームの流れを優先しない関わりについての職員の意識は高く、常に検討を重ねている。 |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) ・ 本人が行きつけの美容院へ行きたいといわれる方は送迎の支援をしている。 | | |
| 54 | 22 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) ・ 出来る方には、一緒に準備をしたり、又季節の食材を話題にしたり、楽しく食事が取れるように支援している。 ・ オーナーの考えで食事が一緒に取れなくなる。介助する一方になる。 | ※ | オーナーにホームーのあり方を話し、理解していただけるよう取り組んでいく。 |
| | | | (外部評価) 一緒に準備や片付け等ができる人は役割を担ってもらっている。メニューには、ホームで収穫した野菜、利用者の好みや希望を取り入れている。しかし、職員は各自弁当を持参しており、利用者と一緒に食事を楽しんでいるとは言い難い面がある。 | ※ | 職員は同じテーブルで一緒に会話を楽しみながらさりげなく介助している。各自弁当持参になってから日が浅く、利用者の反応にもまだ戸惑いがある。触感・味覚・温度等そのものを口にしないと理解しがたい面もあり、共に生活するうえでの「食」について検討を続け、可能であれば同じものを一緒に食べられるような取り組みも期待する。 |
| 55 | | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) ・ スタッフは一人ひとりの嗜好物を理解しており本人の様子や時間を見ながらそれらを楽しめるよう支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 56 | | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) ・ 時間や習慣を把握し、トイレへ誘導する事でトイレでの排泄を促している。 ・ 排泄パターンを記録しできるだけトイレで排泄できるよう支援している。 | | |
| 57 | 23 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) ・ 職員の都合で2日に1回のペースになっている。(介助の方が多い)本人の希望を聞いてはいるが対応できないときもある。 ・ 午前、午後、は入っていただけるが、夜間はスタッフの関係で対応出来ない。 (外部評価) 夜間は体制的に難しく対応できていないが、タイミングや回数は利用者の希望に沿うように努めている。入浴はコミュニケーションが図れ心身の安楽にも良い機会であるため、ゆったりとした対応に努めている。入浴を嫌がる人には個々に声のかけ方等について職員間で情報交換しながら工夫して対応している。 | ※ | スタッフの都合で早く済ませてしまう。ゆっくりと好きな時に入浴できるようにローテーションを工夫したい。 |
| 58 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) ・ 就寝前にお酒を飲まれる習慣の人は家族の協力の下に飲まれる。 ・ 不安で落ち着かれない利用者の方には暖かい飲み物を飲んでいただき安心して頂く。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) ・ 得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえるよう、お願いできそうな仕事を頼み感謝の言葉を伝えるようにしている。 (外部評価) 情報を職員間で共有し、一人ひとりの生活歴を役割や楽しみごとなどに結びつけるよう支援しており、より充実した生活となるよう、職員は感謝や喜びの言動を素直に表現している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|----------------------------|---|
| 60 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) ・自分の財布からお金を支払い好きなものを買われる。 ・管理できない方も家族の理解を得て小額を財布に入れて安心される。 ・普段は管理されていない方も買い物に行った時は、小額を持っていただき自分で払われる方もいる。 | | |
| 61 | 25 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) ・自由に気の合った人同士が散歩に行ったり、庭に出て日光浴を楽しまれている。 ・買い物に日常的に出かけている。 (外部評価) 気の合った人同士が散歩や庭に出て外気に触れて楽しんでいる。日常的に買い物にも出かけている。 | ※ | スタッフの人数により対応出来ない時もある。柔軟に対応していきたい。 |
| 62 | | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) ・お寺へのお参り。 | ※ | 故郷に行ってみたい等、計画してはいるが親戚の理解が頂けず。今後も一人ひとりの本当の言葉を聞き支援していきたい。 |
| 63 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) ・自由にして頂いている。 ・間違い電話が多い方はホームのスタッフが対応している。 ・毎年、年賀状、暑中見舞い等の支援をしている。 | | |
| 64 | | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) ・スタッフはいつも笑顔で、ご家族が気軽に来やすいように対応している。 ・21.00前はいつでも自由に、仕事帰りでも来ていただける様にしている。 | ※ | 家族はお客扱いになっている。一緒に支援するように、参加できるような取り組みをしていきたい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|---|---|----------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) ・研修会ミーティング等で話し合い、スタッフの共有認識を図り身体拘束をしないケアをしている。 | | |
| 66 | 26 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) ・日中は玄関の鍵をかけずに自由に生活できるよう支援している。 ・一人ひとりのその日の状態をきめ細かくキャッチする事でさりげなく支援している。 (外部評価) 日中は玄関の鍵はかけず自由に出入りしている。一人ひとりのその時々行動を把握して、さりげなく支援している。 | | |
| 67 | | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) ・スタッフは利用者と同じ空間で記録等の事務作業を行いながら利用者の状況を把握している。 ・夜間は見回りをしている。 ・日中は常に利用者の状況を把握し、居場所を確認している。 | | |
| 68 | | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) ・利用者の状況に合わせて注意が必要なものを、把握してスタッフ共有している。 | | |
| 69 | | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) ・日々のヒヤリハットを記録し、スタッフの共有認識を図っている。 ・一人ひとりの状態から予測される危険を検討し事故を未然に防ぐ努力をしている。 ・年に2回、避難訓練、防火訓練、救命処置実施している。 | | |


| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|--|---|----------------------------|---|
| 70 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) ・マニュアルを作成し、年に2回消防署の協力を得て救命法、蘇生法などの講習を受けている。 | ※ | 全スタッフが対応できるように勉強会をしていく |
| 71 | 27 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) ・消防署の協力を得て避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方などの訓練を定期的に行っている。 ・地域の協力体制は地元の消防団長への声かけ、 (外部評価) 定期的に消防署の協力を得て避難訓練を実施しており、避難場所の確認や消火器の取り扱い、また夜間を想定した訓練も行っている。地域の協力体制は消防団長や運営推進会議を通して少しずつ進んでいる。また、地震や水害の対応も検討し、備蓄も整備中である。 | ※ | 非常食を少しずつ揃えている。 |
| 72 | | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | (自己評価) ・ホームでの暮らしのあり方、拘束のない自由な暮らし等起こりえるリスクについて話し合い理解して頂いている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) ・毎日バイタルチェックを行い異常があればDrに報告している。 ・一人ひとりの状態を把握し、スタッフ間で情報を共有し対応している。 | | |
| 74 | | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) ・服薬の効能書を置き、変更時はノートに記録し、いつでも閲覧出来る体制ではあるが、全スタッフが対応できていない | ※ | 全スタッフが対応できるようにしていく。 ・薬変更時の状態変化を記録に確実にしていく。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|----------------------------|--|
| 75 | | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) ・ スタッフは便秘の影響を理解している。 ・ 自然排便が出来るよう、水分、運動、食べ物等工夫し、どうしてもいけないときは、Drの指示の元下剤を使用。 | | |
| 76 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) ・ 毎食後の歯磨きの声かけを行い、出来ない人には介助している。 | | |
| 77 | 28 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) ・ 食事、水分、摂取状況を毎日記録し情報を共有している。 ・ 月に一度カロリー計算を行い、栄養のバランスの見直しなどに利用している。 (外部評価) メニューは旬のもの、ホームの畑で収穫したもの、時々食べたいものを、利用者と共に決めている。食事摂取量・水分量等を記録に残し、月1回はカロリーや栄養バランスを計算して、体調や体重チェックと共に見直している。 | | |
| 78 | | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | (自己評価) ・ 早期発見、早期対応に努めている。 ・ 家族の同意を得て、スタッフ、利用者共にインフルエンザの予防接種をしている。 ・ ペーパータオルの使用、手洗いの徹底。 ・ 感染症になった場合は出勤停止。 | | |
| 79 | | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | (自己評価) ・ まな板、布巾定期的に漂白している。 ・ 冷蔵庫の点検、掃除をこまめに行っている、 ・ 食材の鮮度、確認。買いだめを多くしない。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | (自己評価) ・ 門に戸があるがいつも開放している。 ・ 庭にはベンチを置き誰でも座れるようにしている。 ・ 玄関周りには木、草花、を飾り、楽しめるようにしている。 | | |
| 81 | 29 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) ・ リビングの飾りつけ、利用者と共にやっている。 ・ 茶碗の洗う音、ご飯の炊ける音、五感を刺激する工夫 ・ 匂い、風の流れ、居心地のいい環境を作る。 (外部評価) 緑の多いゆったりした敷地にあるホームのため、窓からの自然の風景や音で季節感を味わうことができる。台所から居間が見渡せ、会話や見守りがしやすい。また、壁には季節の飾りや利用者の作品等が飾っており、それが話題のきっかけとなることもある。 | | |
| 82 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | (自己評価) ・ リビングにソファがあるが全部見渡せるようになっていて少し隠れるような空間がほしい。 ・ 庭にはベンチがあり気の合う人が話し合っている。 ・ 和室もあるがあまり利用されていない。 | ※ | 和室を利用し、2～3人が楽しめる空間にしたい |
| 83 | 30 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) ・ 本人の使い慣れたもの、大事にされているもの、持ってきて頂いている。 仏壇を持ってきている方もいる。 (外部評価) 仏壇・テレビ・写真・収納家具・趣味のもの等があり、それぞれが個性的で、個々人の生活をうかがうことができる。入り口も飾りや暖簾、目印となる表示等で工夫している。陽射しや温度調節は細やかに支援し、家族の協力を得ながら季節の衣類の交換をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 84 | | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) ・ 温度計、湿度計があり常に気をつけている。 ・ 換気にも十分注意をしている。 ・ 利用者の方に応じて調整している。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) ・ トイレ、浴槽、廊下 手すりはあるが十分ではない。 ・ 洗濯場、自分で手洗い出来る場所がない。 ・ 裏に出る場所に手すりが無い。 | ※ | 裏に手すり設置を検討。 |
| 86 | | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) ・ 場所が分かりにくい人には、大きく目立つ色、形で表示し、支援している。 | ※ | 一人ひとりの状況を考え環境を整えることで自立出来る事を支援していく。 |
| 87 | | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) ・ 庭に花を植えたり、畑に野菜を作り、利用者と一緒に楽しんでいる。 ・ 庭にベンチがあり、気の合った人の憩いの場になっている | | |

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

| V. サービスの成果に関する項目 | | | |
|------------------|---|---|--|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | 1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | ある利用者の方がすぐに居室に帰られる。 居室が安心できるから 本当にそうなのか？ |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | (自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | ソファ等に、利用者とスタッフが一緒に座り、利用者の方が安心してくつろいでいる。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | (自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | たまに、せかされている場面がある。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | (自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 買い物と一緒にいくと嬉しそうに買い物をされる。 畑に行き草引きをすると時間を忘れて綺麗になると喜ばれる 家事をお願いすると喜んでされる。 |
| 92 | 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている | (自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | スタッフの人数の関係ですぐに対応出来ない時がある。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | (自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | オーナーが医療法人であり、病院と連携がとれている。 看護師がスタッフの中にいる。 |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | (自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | その状況によってはすぐに対応し、又要望等はスタッフを調整して対応している。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく | (自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | 頻回にきて頂く家族とは、コミュニケーションがとれているがあまり来られない家族とはお互いに遠慮があるのでは。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | (自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない | 利用者の面会の人、近所の人が畑仕事をしていると声をかけて頂く。 |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
|-----|---|---|--------------------------|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない | ホームの理解はして頂いている。 |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | 1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 労働条件、常勤とパート |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 近所にお店がない。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない | 苦情を聞くようにしているが、なかなか声が出ない。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

制度が変わったり、GHのあり方等悩みはいろいろありますが、今までの生活を継続でき、笑顔で過ごして頂けるよう支援していきます。
暮らしの継続。 入居者の笑顔。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム薬師谷マナー

(ユニット名) 雪輪

記入者(管理者)
氏名 横濱 和枝

評価完了日 平成 19 年 5 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------|------|--|--|----------------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) ユニットの理念を作っている。 (外部評価) 職員全員で検討を続けており、本人が地域とのつながりを持ちつつ、その人らしく暮らし続けることを大切にしている。 | ※ | 地域密着型としての理念を作り、実践していく。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) ・理念に対する意識があまりなく、日々の業務に追われていると思う。 (外部評価) 理念を事務室や居間に掲示して常に目に触れるようにしており、実践に活かされるものとなるよう取り組んでいる。 | ※ | ミーティング時、理念について話す機会を持ちスタッフで意識し、日々取り組んでいきたい。 |
| 3 | | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価) ・リビングの目につく所に理念は掲示し、家族が来られても分かるようにしてあるが、家族に理解をしてもらえないよう取り組みをしていない。 | ※ | 家族と話す時や、ホーム便りを通し家族の方に理念についての理解をして頂けるよう取り組んでいきたい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) ・入居者との散歩時、出勤、退社時、隣、近所の人と挨拶、日常会話はしている。 | ※ | ホームに気軽に来て頂けるよう取り組んでいきたい |
| 5 | 3 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) ・地域のお祭り、盆踊り、清掃活動には参加している。 ・婦人会のバザーに誘っていただき参加。 (外部評価) 地域の行事や活動には積極的に参加しており、清掃活動や婦人会のバザーにも協力している。運営推進会議を通じて自治会や老人会等とのつながりも進めている。また、地域のゲートボール場の利用等も検討したいと考えており、散歩や買い物等の機会もより工夫したいと努めている。 | ※ | まだまだ地域との交流が少ない。利用者が参加出来る事は積極的に参加していく。 地域との関係は徐々に進んでいるが、さらに働きかけをより具体的に続行していくことを期待したい。地域から「してもら」だけでなく、ホームとして「できること」についても検討し、職員は専門職として地域へ働きかけることも期待する。 |
| 6 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 地域に対してホームが話し合ってる事と、取り組んでいることはない。 | ※ | 地域の高齢者ともっと交流できるよう取り組んでいければよいと思う。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 自己評価を行う事で話し合ったり、理解できていない点を知ったり、改善に取り組んでいる。 (外部評価) 管理者及び職員は評価の意義を理解しており、個々に自己評価をして改善に取り組む姿勢がある。昨年度の評価を受けて、具体的な改善に取り組んでいる。 | ※ | 自己評価を行う事で自分自身のこと、周囲のこと見直すことが出来、改善することが出来る。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|----------------------------|--|
| 8 | 5 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) ・ 2ヶ月に1度会議を開き、議事録を公表している。 ・ いろんな意見が聞け、又ホームの活動を知ってもらう機会にはなっている。 | ※ | 家族会に繋げられるように。又地域の方にもっと参加して頂き、交流の場にしたい。 |
| | | | (外部評価) 会議での意見や提案は検討し、積極的に運営に活かしている。また、ホームをより理解してもらうために情報提供もしている。 | ※ | サービスの質を向上するうえで大切なものと捉えており、活発な会となるよう努力している。今後は家族会等にも発展したいと検討している。 |
| 9 | 6 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) ・ 介護相談員の受け入れ、1ヶ月に1回 ・ 分からないことがあれば相談に乗って頂いている。 ・ GH連絡会へ参加し、情報交換している。(包括) ・ 介護保険の更新、区分変更、認定の不正等、申請代行 | | |
| | | | (外部評価) 運営推進会議に参加のうえ現場の実情を見てもらい、意見交換できている。また、必要時はメール等で相談もしている。介護相談員は月1回受け入れている。 | ※ | 管理者等の人脈もあり、スムーズに連携できているが、さらに機会あるごとに具体的により幅広い連携への取り組みを期待する。 |
| 10 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) ・ 勤務扱いで研修に参加できる体制ができている。参加していないスタッフにも資料などの閲覧で内容を知る事が出来る ・ 成年後見制度を利用したい利用者がいて話すがまだ利用できていない。 | ※ | 利用できるように話を進めていく。 |
| 11 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) ・ 研修に参加し虐待防止法は周知できていると思う。 ・ ストレスにより虐待が発生する事も多いため、ストレスをためる事が無い様スタッフ間の話を良く聞き防止に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) ・ 時間をとり説明を行っている。特に料金に関する事、起こりうるリスクについて。 ・ 利用者の状態変化により契約解除に至る場合は家族等と対応方針を相談している。 | | |
| 13 | | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) ・ 介護相談員を月に1回来て頂き、自由に話を聞いて頂いている。 ・ 不満が出た場合早急にスタッフ間で話し合い、良い状態になるよう対応している。 ・ 意見が言いやすい、話しやすい環境づくりをしている。 | | |
| 14 | 7 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) ・ 月に1回ホーム便りで暮らしぶり、スタッフの移動、連絡ごと、報告している。 ・ 面会時には必ず声をかけ、話をしています。 ・ 遠方の方には、手紙で連絡しています。 (外部評価) 毎月発行のホーム便りで暮らしぶりを伝えている。家族の来訪は多く、訪問時には声をかけて状態等を伝えるようにしており、変化がある時や必要時にはその都度報告・相談している。今後は、状況報告だけでなく嬉しいことなども多く伝え、喜びを共有したいと考えている。 | ※ | 困ったときばかりでなく、喜ばれたこと、今まで出来なかったことが出来るようになったとき等家族が聞いてうれしい事を報告していきたい。 |
| 15 | 8 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) ・ 苦情処理担当者、苦情の窓口等重要事項で連絡先も記入し入居時に説明をしている。 ・ 苦情ボックスを設置している。 ・ 訪問時必ず声かけし、意見を聞くようにしている。 ・ 運営推進会議に参加して頂き、意見を頂いている。 (外部評価) 運営推進会議には家族の出席もあり、今後は家族会に繋がりたいと検討している。苦情相談担当者や意見箱等、意見を表出する具体的な方法は明示しているが、より意見をいただくために良好な関係づくりに努めている。 | ※ | 家族会につなげ、自由に意見を頂き、運営に反映していきたい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 16 | | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 定期的にホーム長会議又主任会議を開き自由に意見を言い合えるようにしているが、提案を受け入れてもらうことは少ない。 | ※ | オーナーに分かって頂けるよう話し合っていく。 |
| 17 | | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) ・ 管理者は通常のシフトに入れていない。状況に応じ柔軟に対応する。 ・ パートの方に柔軟に対応し、調整している。 | ※ | パートの方に時間制限があり十分ではない。 |
| 18 | 9 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) ・ 移動がないように心がけているが、離職者がある時は、引継ぎ等十分時間を取っている。 (外部評価) 職員の異動は少なく各ユニットの職員は固定しており、馴染みの関係が保たれている。職員の交代がある時は紹介や引継ぎ・教育等の時間と手間をかけている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) ・ 出勤扱い、費用負担し、研修を受ける事を進めている。 ・ 研修場所が遠い。もっと近くにあれば参加したい。 ・ 研修を受けていない人も、資料、レポートを見るようにしている。 (外部評価) 管理者は段階に応じて研修が受けられるよう配慮しているが、まだ計画的に進んでいない。研修の情報はできるだけ伝え、参加を働きかけており、内容によっては出勤扱いでホームが費用負担をしている。地域や法人内の研修機会は少ない。 | ※ | 近い地区での研修。又当ホームでの勉強会。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 20 | 11 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) ・ GH連絡会を包括が立ち上げ情報交換、勉強会等している ・ 運営推進会議に他のホームの方にも参加して頂き交流している。 ・ 市内の5箇所のホームが集まり、勉強会をしていたが、しばらく休止している。又再開していきたい。 | ※ | 勉強会を再開していきたい。 |
| | | | (外部評価) 市内5つのグループホームで連絡会を作り、勉強会等での交流を始めている。また、ホームの運営推進会議のメンバーに入ってもらい、相互の活動や質向上に活かしている。 | ※ | 活発な交流・勉強会等を定期的で開催し、より具体的なテーマで取り組むことができるよう、継続を期待する。 |
| 21 | | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) ・ | | |
| 22 | | ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) ・ 食事会や職員同士で話をし、一人で問題を抱え込まないようにしている。 ・ 人間関係を把握するように努めている。 | ※ | ミーティング等回数を増やし話し合う機会を増やしていきたい。 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) ・ 急に利用されることが多く、戸惑うこともあるが時間を取り本人の思いを聞き受け入れ安心していただける様取り組んでいる。 | ※ | 時間があれば、徐々にホームに馴染んで頂けるような体制が取れる。 |
| 24 | | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) ・ 急に利用になる事が多く十分に聞けてはいない。しかしなるべく時間を取り、家族の思いや不安、受け止める努力をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 25 | | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) ・利用者には何が必要か見極め、対応している。 | | |
| 26 | 12 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) ・やむを得ずすぐに利用になる事が多い。家族の協力を得て仕事帰りに寄っていただいたり、電話を掛けて頂いたり本人が安心出来るように関わっている。 (外部評価) 本人や家族に何度か訪問してもらったり、ホーム職員からの訪問や電話するなどし、家族の協力を得ながら馴染めるよう努めている。急な利用となることが多く、個々の情報から不安材料を取り除く関わりに努め、安心できる環境を整えるよう配慮している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) ・利用者は人生の大先輩であり、教えて貰う事が多い。 ・スタッフが声かけし、してもらっている事が多くなりがち お客さんの状態になっている。 (外部評価) 職員は、人生の先輩としての関わりを基本姿勢として、共に生活している。個々のできる事、どの程度の支援でできるか等を見極め、情報交換・共有しながら、利用者がお客さんにならないケアに努めている。 | ※ | 支援する側、支援される側という意識を持たずにお互いが協働しながら生活できるようにする。 |
| 28 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) ・家族にも介護に参加できる場面を作っている。(外出、散歩、通院) ・介護してもらっていると思われ遠慮の気持ちがある。 ・お任せしました。 | ※ | 家族との交流を深め、信頼関係を築いていく。 対等な関係を築き、ケアプラン作成時に参加して頂く。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 29 | | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) ・ 家族、本人の思いや状況を見極めながら外出や外泊で家族と一緒に過ごすことを進めたり、行事に家族を誘ったり共に過ごす時間を提供している。 | | |
| 30 | | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) ・ 知人、友人自由に訪問したり、遊びに行ったりしている。 ・ お墓参りに行く。 | | |
| 31 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) ・ 利用者同士の関係を把握し、孤立しないように努めているが、孤立する場面もある。スタッフが間に入り関係を修復している。 | ※ | 利用者同士の関係を邪魔しないように。 |
| 32 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) ・ 他の事業所へ移られた方にも、利用者と一緒に遊びに行ったり行事に来てもらったりした。 ・ 他の施設に移られた方、遠慮があって出向くことが少なくなっている。 | ※ | 退所後の経過を家族に連絡を取り、良い関係を大切にしていきたい。 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) ・ 日々の関わりの中で特に個別の時(入浴時等)話を聞いている。 ・ 言葉、表情からその真意を推し測ったりしている。 (外部評価) 職員は共に生活する中で思いや希望を把握している。特に入浴介助時は把握でき易いと感じている。それらをケアの中でより活かしていくために、記録方法等の工夫に取り組んでいる。また、家族から情報を受け取るだけでなく、ホームで得られた情報を家族へ返していく取り組みも進めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 34 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) ・ アセスメントで情報収集しているが、入所後も情報収集に努め、スタッフ間で情報を共有し、サービスに生かしている。 | | |
| 35 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) ・ センター方式のシートを活用し、ミーティング時スタッフ間で話している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) ・ ご本人やご家族には日頃のかかわりの中で思いや意見を聞き反映させている。 ・ スタッフで意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 (外部評価) 本人や家族の日頃の意向を反映させている。また、職員間でカンファレンスをして評価し、計画作成に活かしている。 | ※ | ご本人、ご家族も一緒に参加しプラン作成していく |
| 37 | 16 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) ・ 更新時、変化が生じた場合は見直し、モニタリング、スタッフと話し合い実施している。 ・ 本人、家族、個別又は面会時に話を聞きプランに取り入れている。 (外部評価) 関係者で定期的及び必要時の見直しをしている。可能な時は本人及び家族も参加してのカンファレンスを行っている。 | ※ | 本人、家族、スタッフ一同に集まりプラン作成していく。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| 38 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) ・センター方式のシートを活用し、記録している。 | ※ | 全員24hシートを利用しているが、個々に応じた記録でも良いのではないかと検討していく。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) ・個別な要望にも応じ出来る事は支援している。(墓参り、友達の自宅までの送迎、) (外部評価) 本人及び家族の要望には柔軟に対応する姿勢をもち、希望する医療機関への通院、理美容院の利用、墓参り、友人宅への訪問等を支援している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) ・近くの派出所へ声かけ、ホームの存在を知ってもらっている。 ・近くの消防団長さんへ挨拶に行きホームの存在を知って頂き、お願いしている。 ・運営推進会議に民生委員の方に参加して頂き、協力して頂いている。 | | |
| 41 | | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) ・本人の希望や体調に応じて訪問理美容サービスを利用している。 | ※ | 本人の生活をよりよくする為に、いろいろサービス行事等利用できるものはないか探してみる。 |
| 42 | | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) ・GH連絡会の開催 勉強会や情報交換を行っている。 ・困難事例、ケアマネ、包括スタッフと協働し対応した。 | ※ | 成年後見制度を利用し利用者の権利を守っていく。包括と連携し。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|----------------------------|--|
| 43 | 18 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) ・オーナーが医療法人であり、当医院で対応できるものは当医院が多い。しかし基本的には利用者の自由で他の病院へかかっている方もいる。又紹介で他の病院受診の方も多い。 (外部評価) 希望する医療機関への受診を支援しているが、運営法人である医療機関を利用している方が多い。紹介により、専門の他の医療機関で適切な医療を受けることもある。 | | |
| 44 | | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) ・オーナーが脳神経外科医であり、診断情報や認知症についての指示や助言をもらっている。 | | |
| 45 | | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) ・看護職員を配置している。健康管理、医療機関との連絡 ・法人が医療機関であり医院の看護師とも相談できる体制である。 | | |
| 46 | | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) ・入院時には情報を提供し、本人の不安を取り除くよう頻会に見舞いに行ったり、家族とも連絡し回復状況を確認したり看護師さんとも連携し早期退院に向けて調整している。 | | |
| 47 | 19 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) ・重度化した場合ホームで出来る事、出来ないことをお話し本人、家族の気持ちを確認しながら対応している。 (外部評価) 予測される早い段階で、本人・家族・医師等と話し合っている。時々気持ちの変化があるため、度々話し合い、意思を確認している。ただ、現在までに終末期を経験していない職員もおり、不安を感じている。 | ※ | 今現在あまり重度な方がいないが今後重度化が進み対応が出来るようスタッフの力を付けていかなければならない。 |
| | | | | ※ | 看護職が3名いるが、特に経験のない職員は不安を持っており、情報の共有と教育の実践が必須であるため、今後の取り組みに期待する。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 48 | | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) ・ 本人家族の意向を踏まえ、医師、スタッフと連携し対応している。 ・ ホームとして出来る事、出来ないことを話し、何が本人にとっていいのか、本人家族と相談し対応していく。 | ※ | スタッフの勉強会をして知識をつける。 |
| 49 | | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) ・ 他施設、病院移られた場合情報を伝え、スタッフが会いに行くなどダメージを防ぐように努めている。 | ※ | センター方式のシートを活用していく。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 50 | 20 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | (自己評価) ・ ミーティング時に対応について話し合い、スタッフの意識向上を図っている。 ・ 個人情報の取り扱い、秘密保持について話している。 ・ 馴れ合いになり、ついプライバシーを損ねるような言葉かけをしている。 (外部評価) 常にミーティング等で振り返りをし、言動に注意して対応している。記録は事務室に保管しており、適切な取り扱いに努めている。 | ※ | 利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図る。 |
| 51 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | (自己評価) ・ スタッフの業務の都合で自己決定の場を少なくしている事がある。 ・ 個人に合わせて分かるように説明し、納得して頂いている | ※ | 自己決定の場を作っていく。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 52 | 21 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) ・一人ひとりのペースを大切に心掛けているが、スタッフの都合になる事がある。 | ※ | 可能な限り希望に沿っていく。 |
| | | | (外部評価) ホームのおおまかな一日の流れはあるが、個人の体調や思いを優先している。制約等により思いを優先できない時は、よく話し合って対応している。 | ※ | 職員の都合やホームの流れを優先しない関わりについての職員の意識は高く、常に検討を重ねている。 |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) ・パーマ、毛染め、カット、近くの美容院へ行かれている。 ・体調によりホームに来てもらう時もある。 | | |
| 54 | 22 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) ・一緒に配膳、食事、片付けをしているが、準備はあまりされない。 ・味付け、好みもの、話題にし楽しく、ゆっくり食事をするようにしている。 | ※ | 準備もなるべく一緒に出来るように関わっていく。 |
| | | | (外部評価) 一緒に準備や片付け等ができる人は役割を担ってもらっている。メニューには、ホームで収穫した野菜、利用者の好みや希望を取り入れている。しかし、職員は各自弁当を持参しており、利用者と一緒に食事を楽しんでいるとは言い難い面がある。 | ※ | 職員は同じテーブルで一緒に会話を楽しみながらさりげなく介助している。各自弁当持参になってから日が浅く、利用者の反応にもまだ戸惑いがある。触感・味覚・温度等そのものを口にしないと理解しがたい面もあり、共に生活するうえでの「食」について検討を続け、可能であれば同じものを一緒に食べられるような取り組みも期待する。 |
| 55 | | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) ・本人の状況に合わせてスタッフが管理しながら、日常的に楽しめる。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|--|----------------------------|---|
| 56 | | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) . 出きるだけオムツの使用はせず、必要であればパット使用し時間ごとに声かけ、誘導している。 . その人の状態を把握し、誘導や声かけでトイレで排泄が出来るように支援している。 | | |
| 57 | 23 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) . 個々にあわせて入浴して頂いている。ただ夕方、夜間、スタッフの関係で入浴が出来ていない。 . 入浴を拒否される方に、ついたてを置くことにより、安心してはいただけるようになった。 (外部評価) 夜間は体制的に難しく対応できていないが、タイミングや回数は利用者の希望に沿うように努めている。入浴はコミュニケーションが図れ心身の安楽にも良い機会であるため、ゆったりとした対応に努めている。入浴を嫌がる人には個々に声のかけ方等について職員間で情報交換しながら工夫して対応している。 | | |
| 58 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) . 生活リズムを整え、安心できるように関わりをもって眠れない時もある。 . 眠れない時は、話を聞いたり、何か飲み物を飲んで頂いたり、落ち着くように関わっている。 | ※ | 宿直体制であり、夜間十分に関わりが持てない。体制を変え関わりを持ち、安心できるように支援する。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) . 役割、気晴らしを見つけ自由に生き生きとせいかつさされている方もいるが、全員ではない。 (外部評価) 情報を職員間で共有し、一人ひとりの生活歴を役割や楽しみごとなどに結びつけるよう支援しており、より充実した生活となるよう、職員は感謝や喜びの言動を素直に表現している。 | ※ | それぞれが生き生きと生活を送ることが出来るよう出来る事、力を活かせる場面作りを作っていく。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|----------------------------|---|
| 60 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) ・自分で管理されている方もいる。管理できない方はスタッフが管理している方もいる。 ・管理できない方も家族の了解を得て所持されている方もいる。 | | |
| 61 | 25 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) ・日常的に散歩、買い物、お墓参り、等希望に沿うように支援しているが、スタッフの関係ですぐには対応出来ないときもある。日にちを調整して早めに対応している。 (外部評価) 気の合った人同士が散歩や庭に出て外気に触れて楽しんでいる。日常的に買い物にも出かけている。 | | |
| 62 | | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) ・個別にお墓参りに行きたいと言われる方には対応している。個別に自宅が気になり一緒に行き帰る。 ・故郷に行ってみたくてという方には家族と話し合い、実現できるように取り組んでいる。 | ※ | もっと積極的に働きかけ言ってみたくて行けるように支援していく。 |
| 63 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) ・出来る方は自由に電話も使って頂き、又手紙も自由に出してもらっている。トラブル(苦情)の手紙の時はスタッフが後でお断りをしている。 ・自分で出来ない方にはスタッフが変わって取り次いだりして、本人の気持ちに沿うように支援している。 | | |
| 64 | | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) ・知人、友人、いつでも来て頂けるようにスタッフも対応している。 ・特に時間を決めておらず、夜9時まではいつでも良く、仕事帰りにでもよっていただけるようにしています。 | ※ | 今はお客様扱いになっている。もう少し参加する機会を作り、居心地良い場所になるよう支援していく。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|---|---|----------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) ・研修、参加しない人もレポートを見ることができ、何が身体拘束になるか周知している。 | ※ | ミーティング時等、話し合い、常に見直していく。 |
| 66 | 26 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) ・見守り、利用者の状態を把握し、日中は鍵を掛けずに自由に入出りをされている。 (外部評価) 日中は玄関の鍵はかけず自由に入出りしている。一人ひとりのその時々行動を把握して、さりげなく支援している。 | | |
| 67 | | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) ・スタッフは利用者の様子を把握し、所在を確認し安全に配慮している。 | | |
| 68 | | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) ・利用者の状態に応じて預かったり、注意を促したり、対応している。 ・刃物など危険なものは、夜間は鍵を掛けたり、している。 | | |
| 69 | | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) ・ヒヤリハットを書き、スタッフ全員で共有し事故を防ぐようにしている。 ・所在の確認。薬の管理。喫煙場所を決めスタッフが対応。 ・避難訓練、救急処置、定期的に実施。 ・一人ひとりの状態を把握し、見守り、介助、対応している。 | | |


| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 70 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) ・ 消防署の方に来て頂き、応急手当講習をしている。 ・ 連絡網を作っている。 | ※ | 年に1回では忘れてたり、十分ではないと思う。定期的に実施して行きたい。 |
| 71 | 27 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) ・ 消防署の協力を得て避難訓練、消火器の使い方等定期的に行っている。 ・ 地域の消防団長さんにホームの事はお話し分かって頂いている。 (外部評価) 定期的に消防署の協力を得て避難訓練を実施しており、避難場所の確認や消火器の取り扱い、また夜間を想定した訓練も行っている。地域の協力体制は消防団長や運営推進会議を通して少しずつ進んでいる。また、地震や水害の対応も検討し、備蓄も整備中である。 | ※ | ・ 地域ぐるみでの避難訓練は出来ていない。地域で機会があれば、参加していく。 |
| 72 | | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | (自己評価) ・ ホームとしての機能、抑制のない生活起こりうるリスクについて入居時、事あるごとにお話している。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) ・ 毎日バイタルチェックし、同時に様子、体調の変化、を観察し、早期対応できるよう勤めている。 ・ スタッフ間で情報を共有し、対応している。 | | |
| 74 | | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) ・ 服薬シートを各個人のケースに入れていて、誰でも見られるようになっていく。 ・ 薬の管理をし、確実に服用できたか確認している。 ・ 薬服用については医療機関と連携し対応している。 | ※ | スタッフ全員が把握できてなく。勉強会をして全員が把握できるようにしていく。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|----------------------------|--|
| 75 | | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) ・水分、食物繊維の多い食材、運動、自然排便が出来るように取り組んでいる。 | | |
| 76 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) ・毎食後の歯磨きの声かけ、就寝前は義歯の洗浄を行っている。介助の必要な方には介助している。 ・口空ケアの必要さは、周知していて、行っている。 | | |
| 77 | 28 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) ・月に1回カロリー計算を栄養の目安として行っている。 ・体重チェック、食事世襲量、水分チェック個々必要な人に行っている。 (外部評価) メニューは旬のもの、ホームの畑で収穫したもの、時々食べたいものを、利用者と共に決めている。食事摂取量・水分量等を記録に残し、月1回はカロリーや栄養バランスを計算して、体調や体重チェックと共に見直している。 | | |
| 78 | | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | (自己評価) ・研修、レポートの閲覧、周知している。 ・手洗い、うがいの励行。掃除塩素系の洗剤で拭き掃除、インフルエンザ予防接種。 | ※ | 感染症マニュアル作っているがもっと使いやすいものにしていく。 |
| 79 | | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | (自己評価) ・まな板、布巾漂白し清潔を心がけている。 ・冷蔵庫を点検し、清潔にしている。 ・食材の残りや賞味期限を確認し新鮮なものを提供している。 ・調理器具、水周り清潔に留意している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|---|--|----------------------------|---|
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | (自己評価) ・ 玄関の門扉を開放していて、草花を植え又ベンチを庭玄関先等いろいろな所に置き、自由に座っておしゃべりが出来るようにしている。 | | |
| 81 | 29 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) ・ 畳の部屋があり、気の会った人達が一緒に横になったり、ゴロゴロされている。 ・ キッチンから音、匂い、それから話題が出来話が弾んでいる。 ・ 利用者の若い時の作品などが飾られている。 (外部評価) 緑の多いゆったりした敷地にあるホームのため、窓からの自然の風景や音で季節感を味わうことができる。台所から居間が見渡せ、会話や見守りがしやすい。また、壁には季節の飾りや利用者の作品等が飾っており、それが話題のきっかけとなることもある。 | ※ | 趣味、材料、置ける場所を作り、利用者が自由に好きな時に作れるように環境を整えて生きたい。 |
| 82 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | (自己評価) ・ 和室で気の会った人達が横になったり事由にされている。 ・ 玄関や階段の上がり口にソファを置き自由に使われている ・ 庭にはあっちこちにベンチを置き自由に使われている。 | ※ | リビングのソファ、イス見渡せる位置にあり何か目隠し出来るものを作り、安心できる空間を作りたい。 |
| 83 | 30 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) ・ 馴染みのタンス、家具を持ち込まれている人もいるが、あまり持ってきていない人もいる。 (外部評価) 仏壇・テレビ・写真・収納家具・趣味のもの等があり、それぞれが個性的で、個々人の生活をうかがうことができる。入り口も飾りや暖簾、目印となる表示等で工夫している。陽射しや温度調節は細やかに支援し、家族の協力を得ながら季節の衣類の交換をしている。 | ※ | 一人ひとり違いが有り、利用者さんが落ち着かれる環境作りをしていく。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 84 | | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) ・ 温度計、湿度計がありシタッフは気をつけ、支援している。 ・ 窓を開け換気をしている。 ・ 換気扇、エアコンの調整。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) ・ 手すりの設置、エレベータ、イスの高さ調整。 | ※ | 洗濯の洗い場、がないので自分で洗にくい。 |
| 86 | | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) ・ トイレ、居室迷われる方大きくプレート表示をしたり、分かりやすくしている。 | | |
| 87 | | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) ・ 草花を作り、又自宅より盆栽を持ってこられたり、楽しまれている。 ・ 畑があり、いろいろ作り、新鮮なものを食べ楽しまれている。 ・ 庭にはベンチがあり自由に休まれている。 ・ ベランダより、見送りされる。 | | |

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

| V. サービスの成果に関する項目 | | | |
|------------------|--|---|---|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | 1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | . 掴んでいるスタッフもいるが、ミーティング時話し合っているが全員に伝わっていない。 |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 1 毎日ある (自己 ② 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない | . 心がけているが業務に追われたり、スタッフが集まっていることがある。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | . 殆んどの方が自分のペースがある。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | 1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | . 日中、いつもウトウトされている方がいる。何もする事がないと言われる。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | 1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | . スタッフの人数の関係で対応出来ない時もある。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | 1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | . オーナーが医療法人でDrとも連絡はとれ、看護師も配置しているが科が違ったり間に合わないとか一抹の不安はある |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | 1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | . すぐに対応出来ない時もあり、不満のある方もいる。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | 1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | . あまり、来られない家族の方で、手紙、TELで連絡をとっているが十分ではない。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | 1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない | . 地域の方は、あまり来られない。もと自由に出入りが出来るようにしていきたい。 |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
|-----|---|---|----------------------------------|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 1 大に増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない | ・ 地域の方の参加が少ない。もっと働きかけていく。 |
| 98 | 職員は、生き活きと働いている | 1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない | ・ 勤務体制の違いがある。常勤とパート |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | ・ 利用者に対する関わりの違いからか、不満に思われている方がいる |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない | ・ 普段の関わりを見ていない家族の方がどう思われているか。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・ ホームに入ったから我慢をしなければならないということがないように、今までの生活をできるだけ継続できるように関わって行きたい。
いろいろと、制度も変わり分らなくなることも多いけど、利用者の笑顔を頼りにがんばって行きたい。